

平成28年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業一覧〔緑区橋本地区〕

平成28年9月1日現在

No.	事業名	団体名	事業の目的・内容	交付決定年月日	交付決定額 (単位:円)	全体事業費 (単位:円)
1	いなか芝居による地域活性化事業	笑吾座	<p>【事業の目的】 芝居の練習や公演を通して、芝居の楽しさを知ってもらうとともに、いろいろな方に活動に参加してもらうことにより、地域住民の交流を図る。また、高齢化に伴う認知症や介護、孤立化の予防のため、多くの人に笑いや涙を提供する。自治会や社会福祉協議会とも連携し、地域全体の活性化につながる活動を目指す。</p> <p>【事業の内容】 ・手作り芝居と民謡の楽しさを体験してもらうため、脚本作り、芝居の練習や大小道具づくり、衣装づくりや交流会を行う。 ・公民館、自治会館や社会福祉施設等で芝居や民謡の公演を行う。</p>	平成28年4月21日	380,000	430,000
2	いきいき元気な地域づくり事業	NPOユウラック	<p>【事業の目的】 各種イベントを実施し、交流の場を提供することにより、人と人との交流や地域とのかかわりを密にし、地域の人々がいつまでも明るく元気でいられるような地域づくりを目的とする。</p> <p>【事業の内容】 地域の方々が明るく楽しめるコミュニケーションの場を提供し、イベントを開催する。 6月には、劇団「やすらぎ一座」を招き、「田舎芝居でやすらぎを！」の公演と「バンド・歌・踊り」の発表を計画、くつろぎと安らぎのひとつを味わえる、憩いの広場づくりを行う。また、12月には、江戸時代から伝わる郷土芸能「相模人形芝居」の活動に取り組む「あつぎひかし座」を招き、「伝統と現代の視点」人形浄瑠璃でひとときを！を計画、交流づくり、仲間づくり、地域の伝統への理解を深める等の交流の広場づくりを行う。 各種イベントの情報はソレイユさがみ、公民館等に掲示、あわせてチラシを配布する。</p>	平成28年4月21日	133,000	213,000
3	じょいふるオレンジカフェ事業	じょいふるカフェ会	<p>【事業の目的】 地域の高齢者の介護予防と、認知症になっても安心して住み続けられる地域づくりを目的とする。また認知症の高齢者を支える力のある地域づくりを目指す。</p> <p>【事業の内容】 認知症カフェを開設し、認知症の高齢者とその家族が気楽に立ち寄れる場所を提供する。介護の悩み等を共有できる仲間づくりを支援し、住み慣れた地域や自宅で出来るだけ長く生活していくことができる環境づくりに取り組む。また、認知症サポーター、認知症サポーターキャラバンメイト等が活動する場所づくりを行う。</p>	平成28年4月21日	50,000	58,400
4	緑区のこどものまち	スマイル ミニシティ プロジェクト	<p>【事業の目的】 こどもたちが自らの力によって「まち」を変えていく体験をすることにより、こどもの社会参画を目指す。参加することもたちや若者の活躍によって、将来の橋本地区のまちづくりへ積極的に参画する市民の育成を目的とする。</p> <p>【事業内容】 公募することも運営委員が中心となり、学生ボランティア、大人スタッフと協力して仮想のまち「緑区のこどものまち」をつくる。「こども会議」を2回開催し、具体的なまちに必要な施設を考える。また、「こどものまち」に参加することも市民を募集。イベント当日、こども市民がこの「まち」で社会体験をする。</p>	平成28年5月31日	250,000	325,000
5	二本松にここサロン事業	二本松にここサロン	<p>【事業の目的】 人と人との交流、関わり合いなどを通して参加者が元気を得て、地域の人がいつもここに元気で楽しめられるようになる事業を目指す。 町内会館を会場に、希望者が気軽に参加し交流できる場を提供。まず家から出て、「おしゃべり」や「お茶飲み」をして皆と交わり、交流を密にし経済的に無理のないコミュニティを作る。また、参加者に、多様な「楽しみ」をあわせて提供することで、参加者に新たな趣味や生きがいを見つけてもらえることを目標とする。</p> <p>【事業の内容】 地域の町内会館で月に2回、サロンを開催。「おしゃべり+お茶会」に加え出前講座、健康体操、映画会、三味線演奏、キーボード演奏、オカリナ演奏、大正琴演奏、輪投げゲーム等の「楽しみ」を織り交ぜて、参加者の交流や健康増進を図る。</p>	平成28年5月31日	185,000	233,000
6	橋本地域住民防災検討事業	橋本地域住民防災検討会	<p>【事業の目的】 ・震災・火災への備えに対する、地域住民の意識の向上を図る。特に平素からの“自助、共助”を加味しての“防災・減災”施策の理解や意識の向上を目指す。 ・地域住民目線で対応を検討することにより、“防災・減災”施策の「公助」に対する具体的な理解・活用を図る。 ・地域住民・行政による地域防災施策・体制の理解・活用への貢献を目指す。</p> <p>【事業の内容】 講演会の開催、また展示会、研修会に参加し、地域住民間の“自助・共助”を加味した“防・減災”の重要性を意識づける。同時に、地域ごとの特性や「自助・共助・公助」を踏まえ、地域の“防災・減災”施策の課題の抽出に取り組み、対応施策を提示・実施する。</p>	平成28年8月26日	118,000	123,000